

# ご退職された教授の略歴

(五十音順)

## 会田弘継教授略歴

### 学 歴

1976 年 3 月 東京外国語大学英米語学科卒業  
1976 年 4 月 共同通信社入社  
1981 年 6 月 共同通信社大阪支社社会部  
1988 年 7 月 共同通信社ワシントン支局記者  
1993 年 10 月 共同通信社ジュネーブ支局長  
1997 年 9 月 共同通信社外信部次長  
1999 年 9 月 共同通信社ジュネーブ支局長  
2002 年 8 月 共同通信社ワシントン支局長  
2010 年 6 月 共同通信社編集委員室長  
2012 年 2 月 共同通信社論説委員長 公益社団法人・日本記者クラブ理事  
2015 年 4 月 青山学院大学地球社会共生学部教授 (2020 年 3 月まで)

### その他 主な役職

2010 年度 公益財団法人トヨタ財団研究助成プログラム選考委員長  
2014 年度～ 公益財団アメリカ研究振興会理事  
2016～17 年度 朝日新聞社「編集権に関する審議会」委員  
2018 年度～ 朝日新聞社「報道と人権委員会」委員  
2009～20 年 米論壇誌 The American Interest 編集委員

## 著作等目録

### I 著書

(単著)

『戦争を始めるのは誰か』講談社新書、1994 年 1 月

『追跡・アメリカの思想家たち』新潮選書、2008 年 9 月

『増補改訂版 追跡・アメリカの思想家たち』中公文庫、2016 年 7 月

『トランプ現象とアメリカ保守思想』左右社、2016 年 8 月

『破綻するアメリカ』岩波現代全書、2017 年 12 月

(共著)

『アメリカのグローバル戦略とイスラム世界』明石書店、2009 年 1 月

『メディア環境の変化と国際報道』新聞通信調査会、2012 年 1 月

『世界から読む漱石「こころ」』勉誠出版、2016 年 2 月

『入門トランプ政権』共同通信社、2016 年 12 月

アメリカ学会編『アメリカ文化事典』丸善出版、2018 年 1 月

他 5 件

### II 論文

「アメリカ思想界の十年」『中央公論』第 126 巻第 10 号、pp.96-103、2011 年 9 月

「トランプ現象とラディカル・ポリティクス」『青山地球社会共生論集』（青山学院大学地球社会共生学部）第 1 号、pp.63-91、2016 年 5 月

「忘れ去られた思想家の復権：トランプ政権誕生の思想史」『立教アメリカン・スタディーズ』（立教大学アメリカ研究所）第 39 号、pp. 7-33、2017 年 3 月

「ジェームズ・バーナム思想とトランプ現象：エリートと民衆の反動的交叉」『アメリカ研究』（アメリカ学会）第 52 号、pp. 41-62、2018 年 3 月

その他（数えたことなし）

### III 翻訳書

フランシス・フクヤマ『アメリカの終わり』講談社、2006 年 11 月

フランシス・フクヤマ『政治の起源』（上）（下）講談社、2013 年 12 月

マーク・リラ『難破する精神』NTT 出版、2017 年 8 月

ラッセル・カーク『保守主義の精神』（上）（下）中公選書、2018 年 5 月

フランシス・フクヤマ『政治の衰退』（上）（下）講談社、2018 年 12 月

他 1 件

### IV 所属学会

アメリカ学会

## 福島安紀子教授略歴

### 学 歴

- 1994 年 米国ジョンズ・ホプキンス大学 高等国際問題研究大学院 (SAIS) 修士課程修了  
修士号 (国際経済学、国際関係論)
- 1997 年 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士課程後期修了 博士号 (国際公共政策)

### 職 歴

- 1994 ～ 2006 年 総合研究開発機構 (NIRA) 主任研究員 / 主席研究員
- 2000 ～ 09 年 防衛施設中央審議会委員
- 2002 ～ 03 年 カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学客員教授 (兼務)
- 2006 ～ 11 年 国際交流基金特別研究員 (シニアフェロー)
- 2012 年～現在 ベルギー Asia EU Centre 国際理事
- 2013 年～現在 Global Governance 誌編集委員
- 2013 ～ 14 年 総理官邸 国家安全保障と防衛力に関する懇談会有識者委員
- 2014 年～現在 外務人事審議会委員
- 2015 ～ 20 年 青山学院大学 地球社会共生学部教授
- 2016 年 米国 CSIS Visiting Scholar
- 2017 年～現在 豪州 Lowy Institute Non-resident Fellow
- 2020 年～現在 東京財団 政策研究所上席研究員

## 著作等目録

### I 著書（直近分）

*Japanese Foreign Policy: A Logic of Multilateralism*, MacMillan Press, 1999

『人間の安全保障』千倉書房、2010 年

『紛争と文化外交』慶応義塾大学出版会、2012 年

『地球社会と共生』明石書店、2019 年

### II 編著、分担執筆（直近分）

*Public Diplomacy and Soft Power in East Asia*, Palgrave, 2011

*US-Japan Security Alliance*, Palgrave, 2011

*Kunst. Kulture Konflikt*, Berlin University Press, 2012

『安全保障論』信山社、2015

『グローバルコモンズ』岩波書店、2015 年

*Post-war Japan*, CSIS, 2017

『平和構築と人間の安全保障』日本評論社、2017 年

*Japan's New Security Partnerships: Beyond the Security Alliance*, Manchester University Press, 2018

### III 学術論文等（直近分）

“Multilateralism Revisited,” *CSIS Strategic Paper Series*, 2016

“Quad 2.0: New perspectives for the revived concept,” *Strategic Insights*, Australian Strategic Policy Institute, 2017

Global Security Challenges and Japan's National Security Thinking: Room to Cooperate with the EU?, Roma, Italy, 2018

### IV 講演、口頭発表など（直近分）

“Overview on Macro-Trends in Northeast Asia,” CIIS=Mansfield Forum, Beijing, China, 2019

“Sustaining and strengthening the rules-based international order,” Australia-Indonesia-Japan-United States Quadrilateral 1.5 Track Security Dialogue, Sydney, Australia, 2019

「文化交流による平和構築」国際平和のための世界経済人会議、広島、2019 年

“Multilateralism and Bilateralism in Security,” Seminar on New Threats to the Liberal Order, Foundation pour Recherche Strategic, Paris, France, 2020

内閣府国際平和協力公開シンポジウム「アジア・中東地域の平和と安定を実現するために一支援とローカルオーナーシップの狭間で」、2020 年

“Maritime Security in the Indian Ocean and the Future of the International Order,” Institute for European Studies, VUB, Brussels, Belgium, 2020

### V 所属学会

日本国際政治学会、日本国連学会、国際安全保障学会、人間の安全保障学会、International Institute for Strategic Studies (IISS) 英国